

不具合事例		整理番号 C-01-003	
タイトル	採取管の下部開口部が詰まり、土壌ガスを採取できない！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、油類		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center; color: red;">「採取したのは土壌ガスですか？」</p>		
作業内容	土壌ガス調査		
使用機器	ドリル、鉄棒等（ボーリングバー等）		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 土壌ガスを採取後、採取管、保護管を回収したところ、先端に土壌が付着しており、地中のガスではなく、採取管との接続部などから吸引された地表付近の大気などが採取されていた可能性があった。 			
予防措置(計画者、監督者、作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 採取管の中に、予めステンレス棒などを挿入した状態で採取管を挿入し、採取管挿入後にステンレス棒を抜くなどして、ガスの通り道を確認するなどの工夫を行う。(計画者、監督者) 採取孔は、なるべく垂直に曲がらないように穿孔する。(作業員) 孔径が 15～30mm 程度以上にならないように注意して穿孔する。(作業員) 保護管挿入時は、なるべく採取孔の中心に保護管を挿入し、孔壁を深く剥がさないようにする。(作業員) 採取管底部からのガスのみ採取するように、導管や捕集器具などに、劣化、緩みがないか確認して気密性を確保する。(作業員) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 監督者に報告し、同じ採取孔で再度採取するのか、別孔を穿孔するのかなどの判断を仰ぐ。 			
その他、留意事項			
関連法規等、出典	・土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂第 3.1 版 Appendix-5		
キーワード	土壌ガス、試料採取		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input type="checkbox"/> 重大 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微

タイトル	採取管の下部開口部が詰まり、土壌ガスを採取できない！	
説明図	<p style="text-align: center;">「採取したのは土壌ガスですか？」</p> 	
作業内容	土壌ガス調査	
指示事項		
<ul style="list-style-type: none">・採取孔はなるべく垂直に、曲がらないように穿孔する。・孔径が 15～30mm 程度以上にならないように注意して穿孔する。・保護管挿入時は、なるべく採取孔の中心に保護管を挿入し、孔壁を深く剥がさないようにする。・採取管底部からのガスのみ採取するように、導管や捕集器具などに、劣化、緩みがないか確認して気密性を確保する。・予めステンレス棒などを挿入した状態で採取管を挿入し、採取管への土粒子の詰まりを防ぐ。		
どんな不具合が起こりうるか？		
だから私たちはこうします		
本日の重点施策	ヨシ!!	
サイン		